

新見統括本部

農業振興計画



1. 取組方針

管内は、中山間地域に属しており、農業就業者の減少、高齢化、担い手不足により、耕作放棄地の増加等、農業生産基盤の弱体化がますます進み、大きな課題となっています。このような状況を踏まえ、「持続可能な地域農業の実現を目指して」主要品目のさらなるブランド化、産地規模の維持・拡大と集落営農・担い手との連携により、JA自ら農業経営に参画し、水田営農の効率化、農地の維持等により地域の活性化を目指します。

また、経営規模・経営形態に応じた営農の取り組みを進め、農業者の所得増大・農業産地の拡大の実現に向けて組合員の方々と共に取り組んでまいります。

2. 農畜産物の生産振興

管内は、夏期冷涼な気象条件や変化に富んだ地形と長年にわたり培われた卓越した農業技術を活かして、県下有数の産地であるピオーネ、モモ、夏秋トマト、リンドウの園芸作物をはじめ、ふれあい市場、水稻、肉用牛等多様な農業が展開されています。

米麦、広域重点振興品目、地域振興品目等の推進を通じて、JAの販売品取扱高の目標を設定し、生産農家の農業所得の増大を図ります。

1) 米集荷目標

(単位: 俵)

品 種・銘 柄	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
あきたこまち	12,284.0	14,000.0	14,000.0	14,000.0	14,000.0
コシヒカリ	30,301.5	32,000.0	32,000.0	32,000.0	32,000.0
きぬむすめ	5,849.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0	7,000.0
そ の 他	6,559.0	6,740.0	6,730.0	6,720.0	6,720.0
多 収 品 種	-	260.0	270.0	280.0	280.0
合 計	54,993.5	60,000.0	60,000.0	60,000.0	60,000.0
(うち買取)	3,874.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0

2) 広域重点振興品目(種)の生産・販売目標

産地化され、新見地域の「顔」となっている作物のさらなる推進を図ります。

(単位:上段 生産面積 ha、下段 販売高 百万円)

品目名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ブドウ	87.0 1,076	88.0 1,100	89.0 1,150	90.0 1,200	93.0 1,210
モモ	22.0 62	22.0 90	22.0 90	22.0 90	22.0 90
トマト	6.4 171	7.0 180	7.5 190	8.0 200	8.5 212
リンドウ	4.1 47	4.3 52	4.7 57	5.0 60	5.5 66
合計	119.5 1,356	121.3 1,422	123.2 1,487	125.0 1,550	129.0 1,578

3) 地域振興品目の生産・販売目標

地域の特色を活かし、他業種との連携による商品化、地理的表示(GI)や機能性表示を利用した販売方法を検討し、地域の農産物の振興を図ります。

(単位:上段 生産面積 ha、下段 販売高 百万円)

品目名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ダイコン	6.0 23	6.0 30	6.0 30	6.0 30	6.0 30
合計	6.0 23	6.0 30	6.0 30	6.0 30	6.0 30

4) JA農産物直売所を通じた農産物の生産振興

農産物直売所は季節に応じた多品目の農産物の生産が求められ、出荷会員の増加と併せて農産物の生産を拡大します。

(単位:上段 販売高 百万円、下段 会員数 名)

直売所名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
あしん広場	127 -	130 -	132 -	134 -	136 -
あしん館	62 -	71 -	72 -	73 -	74 -
花のみち店	58 -	57 -	58 -	59 -	60 -
Aコープ	38 -	42 -	43 -	44 -	45 -
合計	285 635	300 670	305 680	310 700	315 720

5) 畜産物の生産・販売目標

肉用牛は地域ブランド牛の産地維持、素牛は優良子牛の安定生産を図ります。

(単位:上段頭数 頭、下段販売高 百万円)

畜種	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
肉用牛	830	750	780	800	830
(千屋牛)	920	831	865	888	915
子牛	433	460	470	480	490
	279	270	275	280	285
合計	1,263	1,210	1,250	1,280	1,320
	1,199	1,101	1,140	1,168	1,200

3. 担い手・新規就農者等の育成

農畜産物の生産維持・拡大を図るため、担い手・新規就農者等の育成に、県及び市町村と連携により取り組めます。

1) 担い手経営体への対応

重点振興品目の作付推進、新規作物の導入等による多角化により、集落営農の組織化、法人化を図ります。

(単位:経営体)

経営体名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認定農業者	7	8	8	8	8
集落営農組織	24	25	26	27	28
集落営農法人	5	6	7	8	8
合計	36	39	41	43	44

2) 新規就農者等への対応

研修受入農家、空き農地・施設の活用により、新規就農者の受入れを実施します。また、帰農塾を開催することで定年帰農者等の多様な担い手の育成を行います。

(単位:経営体)

経営体名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規就農者	8	8	8	8	8
定年帰農者	—	2	2	2	2
合計	8	10	10	10	10

※単年度の経営体数です。

4. 生産者組織

(単位:名)

地区	組織名	構成員数	組織名	構成員数
本所	ぶどう部会	314	水稻担い手部会	160
	桃部会	57	青壮年部	30
	トマト部会	57	女性部	1,180
	大根部会	4	新見市和牛改良組合	76
	アスパラ部会	3	千屋牛振興会	18
	花卉部会	31	ふれあい市場	620
	椎茸部会	19		

平成31年3月末現在